令和４年度版

曽於市の予算と仕事

健康づくり駅伝大会

アート田

弥五郎どん祭り

36ぷらす３停車駅大隅大川原駅

図書館本館開館 30 周年記念

岩川小学校新校舎

ふるさと納税寄附金額　令和３年度１６億円突破！
令和３年度も全国からたくさんの寄附金をいただきました。

鹿児島県　曽於市

目　　次

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
令和４年度施政方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2
令和４年度予算規模・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5
組織機構図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
○　議会事務局・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7
○　監査委員事務局・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11
○　総務課・地域振興課・・・・・・・・・・・・・・・・　12
○　企画課・地域振興課・・・・・・・・・・・・・・・・　17
○　財政課・地域振興課・・・・・・・・・・・・・・・・　29
○　税務課・地域振興課・・・・・・・・・・・・・・・・　32
○　会計課・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　34
○　市民課・地域振興課・・・・・・・・・・・・・・・・　35
○　福祉課（福祉事務所）　・・・・・・・・・・・・・　40
○　保健課・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　45
○　介護福祉課・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　54
○　農林振興課・産業振興課・・・・・・・・・・・・・・　61
○　商工観光課・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　65
○　畜産課・産業振興課・・・・・・・・・・・・・・・・　67
○　耕地課・産業振興課・・・・・・・・・・・・・・・・　71
○　建設課・建設水道課・・・・・・・・・・・・・・・・　86
○　水道課・建設水道課・・・・・・・・・・・・・・・・　98
○　農業委員会事務局・・・・・・・・・・・・・・・・・　101
○　教育委員会総務課・・・・・・・・・・・・・・・・・　103
○　学校教育課・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　105
○　社会教育課・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　107

はじめに

市民の皆様には，日ごろから行政運営に対して深い御理解と御協力をいただき，厚く御礼申し上げます。

さて，本市が，令和４年度に実施する各種事業や市役所各課・係の仕事について分かりやすくお伝えするため，「曽於市の予算と仕事」を作成しました。

これも，市民の皆様と市の情報を共有する大切な手段の一つです。

令和４年度の予算編成は，前年度に引き続き，市民の皆様に開かれた市政を目指すとともに，農・畜産物の付加価値を高め，商工業の発展を更に推進し，子どもからお年寄りまで，笑顔が輝き元気なまちづくりを目指すため，

(1) 市民にやさしい市政運営
(2) 人と自然を生かした活気ある地域づくり
(3) 教育・文化を促進し，心豊かなまちづくり
(4) 人口増を目指し，地域活性化の推進
(5) 農・畜産物を生かした所得倍増のまちづくり

の５つを基本方針として，限られた財源の中で，市民の福祉，教育，くらしを守るための予算として編成しました。

依然として新型コロナウイルスに対する警戒を続けなければならない状況が続いておりますが，私たちは感染防止対策を徹底したうえで前へ進まなければなりません。

感染症対策につきましては，今後も国・県と連携を取りながら確実に進めてまいります。

曽於市発展のために，職員一丸となり最大限の努力をするとともに，小さな声も大切にした行政運営を推進してまいりますので，皆様の一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

曽於市長　五位塚　剛

施　政　方　針

国は予算編成の基本方針として，「経済財政運営と改革の基本方針２０２１」に基づき，昨年に引き続き喫緊の課題である新型コロナウイルス感染症対策に最優先で取り組みながら，ポストコロナも見据えて，今後の力強い成長を実現していくために，４つの原動力と基盤づくりとして，グリーン社会の実現，デジタル化の加速，活力ある地方創り，少子化対策が示されています。

令和４年度の地方財政対策においては，社会保障関係費の増加が見込まれる中，安定的な行政サービスを提供しつつ，防災・減災，国土強靭化の推進など，活力ある地域社会の実現等に取り組めるよう，地方交付税等の一般財源総額について，前年度に対して約２００億円の増となり，令和３年度の地方財政計画の水準を上回る約６２兆円の額を確保されたところです。

本市におきましては，このような国の施策に対応するとともに，市誕生後１６年で約１０，０００人減少している事実と超高齢化に対する危機意識を市民全体で共有し，本市の将来像である「豊かな自然の中で　みんなが創る笑顔輝く元気なまち」を実現するため，「第２次曽於市総合振興計画」に示した，まちづくりの基本方向に向けた取り組みを進め，市民が安心して働き，将来に夢や希望を持つことができるような魅力あふれる地域社会を実現していくため，「第２期曽於市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を計画的に実施しながら，市の人口増対策に対して積極的に取り組むとともに，新型コロナウイルス感染拡大防止と社会経済活動の両立を図りながら，市民が安全・安心を実感できる社会となるよう全力を尽くしてまいります。

まず，市の人口増対策の柱の一つである宅地分譲整備事業は，財部地域の新規分譲地２４区画の販売を開始します。また，市内の未販売分譲地の販売促進に努めるとともに，人口増に繋がる定住住宅取得補助，市有地活用定住促進補助，移住・就業支援金等の定住促進対策事業を展開してまいります。

子育て支援対策においては，これまで第３子以降に支給していた出産祝金について，本年度からは第１子・第２子にもそれぞれ祝金を支給いたします。また，これまで実施してまいりました保育園・認定子ども園等の保育料の負担軽減，高校３年生相当時までの医療費の無料化を継続して実施してまいります。

情報発信事業は，曽於市を市内外にＰＲするための大変重要な事業であります。今後も情報発信の中核をなす「市報そお」やコミュニティＦＭ放送，市ホームページ，ラインなどの各種ＳＮＳ等について，分かりやすい内容で積極的に市民の皆さまへの情報提供に取り組んでまいります。

また，新型コロナウイルス感染症の影響により個別の手続きが必要となる方や高齢化・過疎化の進行に伴い，増加が予想される交通弱者となる方への行政サービスの利用を促進するための通信機器を搭載した「コネクテッドカー」を整備します。

南九州畜産獣医学拠点事業につきましては，鹿児島大学との連携を強化し本事業に取り組んでまいります。令和４年度は，本格的な施設の整備に着手するとともに馬施設の設計等を行い，基幹産業の持続的発展と地域の活性化を図ってまいります。

庁舎整備につきましては，令和元年度に策定しました「本庁・支所機能再編計画」に基づき，窓口業務をはじめとする市民サービスの拡充を図るとともに，災害時における重要な防災拠点施設としての役割，さらに今年１０月からの機構改革に合わせた本庁舎の増築整備を引き続き進めるとともに，併せて既存庁舎の改修も進めてまいります。また，令和７年度の開庁に向けた大隅・財部両支所の庁舎整備についても計画的に取り組んでまいります。

まちの発展には，産業の振興が欠かせません。曽於市は，畜産を中心とする農業のまちであり，農業生産額を増やすことを本市発展の基本と掲げる中，令和３年産曽於市農畜産物生産実績における生産額合計は，４８９億１，０１７万６千円，前年度と比較すると１８億９，２２７万円，１．０４％の増であり，畜産部門では，４１５億８，

３７２万５千円となり,前年度と比較すると２１億２，８１０万円，１．５４％の増となりました。

耕種部門については，後継者の確保育成や農地の集積・集約とコスト削減のため，国・県と連携しながらスマート農業導入を推進します。また，引き続き加工業務用野菜と環境保全型農業推進も取り組みます。また，特産品であるゆずの一次加工施設の効率化を図るため，搾汁センターの増設も進めてまいります。

畑かん営農については水を活用した農作物の収量増，品質向上を図り，農家所得の向上を目指します。また，農業機械導入経費の節減等を図るため，農業公社の受託事業を更に拡充しながら，今年度はコントラクター事業を本格的に稼働し，畜産農家の規模拡大が図られるよう努力してまいります。

畜産については，生産基盤の拡大を図るため，畜産振興協議会事業を中心とした導入保留対策や家畜改良を計画的に進めるとともに，飼養管理の省力化と多頭化を図るための生産基盤施設の整備に取り組んでまいります。

また，家畜伝染病を防止するための防疫対策の強化による家畜衛生体制の確立と家畜の生産性向上を図ってまいります。

思いやりふるさと寄附金推進事業につきましては，昨年度に引き続き，全国から多くの寄附金をいただき，御礼として本市の特産品を贈呈しております。令和3年4月から令和4年1月までの１０か月間で，約8万3千件，約１５億２千万円を超える寄附金をいただき，令和4年3月末には，約１６億円の寄附金を見込んでいます。曽於市を応援していただきました全国の皆様に，心より感謝申し上げます。令和4年度も，更にふるさと納税に対する活動を充実し，本市の全国的なＰＲと地域活性化に努めてまいります。また，「一般社団法人曽於市観光協会」と協力して，ゆるキャラである「そお星人」を利用したＰＲ活動等を行い，本市の観光事業の充実を図ってまいります。

災害復旧事業については，昨年，近年になく被害の少ない年でありました。しかしながら，日本各地では豪雨・強風・地震など甚大な被害が発生しております。防災減災のための予防保全対策に取り組みながら，災害発生の際は，１日も早い復旧に努めてまいります。

まちづくりは，人づくりであり本市発展の基本となるものです。「個性豊かな教育と文化のかおるまちづくり」の基本理念のもと，学校教育においては，確かな学力を身につけ自立する力を育む教育を推進するとともに豊かな心を育み健やかな身体と体力の増進に取り組んでまいります。

学校施設においては，引き続き充実した教育環境の整備を進めるとともに，ＧＩＧＡスクールにおけるタブレットや電子黒板などＩＣＴ機器の積極的な活用を推進してまいります。

学校給食は，安全でおいしい給食の提供と食育を推進するとともに，学校給食費の保護者負担の軽減にも引き続き取り組んでまいります。

また，令和6年9月の供用開始に向けて，新たな学校給食センターの整備を進めてまいります。

社会教育関係では，「市民全員が生涯学び，互いを高め合うまち」の基本計画のもと，市民の生涯学習事業や文化振興事業，スポーツ振興事業など，社会教育全般の様々な学びの場の提供，地域活動の拠点となる各地区・校区公民館や青少年，女性部等の支援を行ってまいります。

市民の健康づくりや生きがいづくりの場として，また，市民や市外からの利用者が広く交流し，憩える場として平成２９年度にオープンしました新地公園グラウンドゴルフ場は，これまで１１万４千人を超える方々にご利用いただいています。今後も，市内外の多くの皆様にご利用いただくよう，施設の充実とサービスの向上に努めてまいります。

令和４年度の予算編成は，前年度に引き続き，市民の皆様に開かれた市政を目指すとともに，農・畜産物の付加価値を高め，商工業の発展を更に推進し，子どもからお年寄りまで，笑顔が輝き元気なまちづくりを目指すため，

(1)　市民にやさしい市政運営

⑵　人と自然を生かした活気ある地域づくり
⑶　教育・文化を促進し，心豊かなまちづくり
⑷　人口増を目指し，地域活性化の推進
⑸　農・畜産物を生かした所得倍増のまちづくり

の5つを基本方針として，限られた財源の中で，市民の福祉，教育，くらしを守るための予算として編成しました。

令和4年度の一般会計当初予算は，259億8，977万6千円となり，前年度当初予算に対して，8億8，522万4千円，3．3％の減となりました。また，特別会計予算におきましては，予算総額が，123億16万1千円となり，前年度当初予算に対して，7，359万1千円，0．6％の増となりました。

国民健康保険特別会計予算は，保険税の負担軽減を図るため，一般会計からの法定外繰入金を2億5，000万円充当して予算編成したところであり，前年度当初予算に対して，2，114万6千円，0．4％減の56億2，121万9千円となりました。

後期高齢者医療特別会計予算は，県の広域連合の積算に基づく保険料及び広域連合納付金が主なものであり，前年度当初予算に対して，3，146万7千円，5．1％増の6億5，095万9千円となりました。

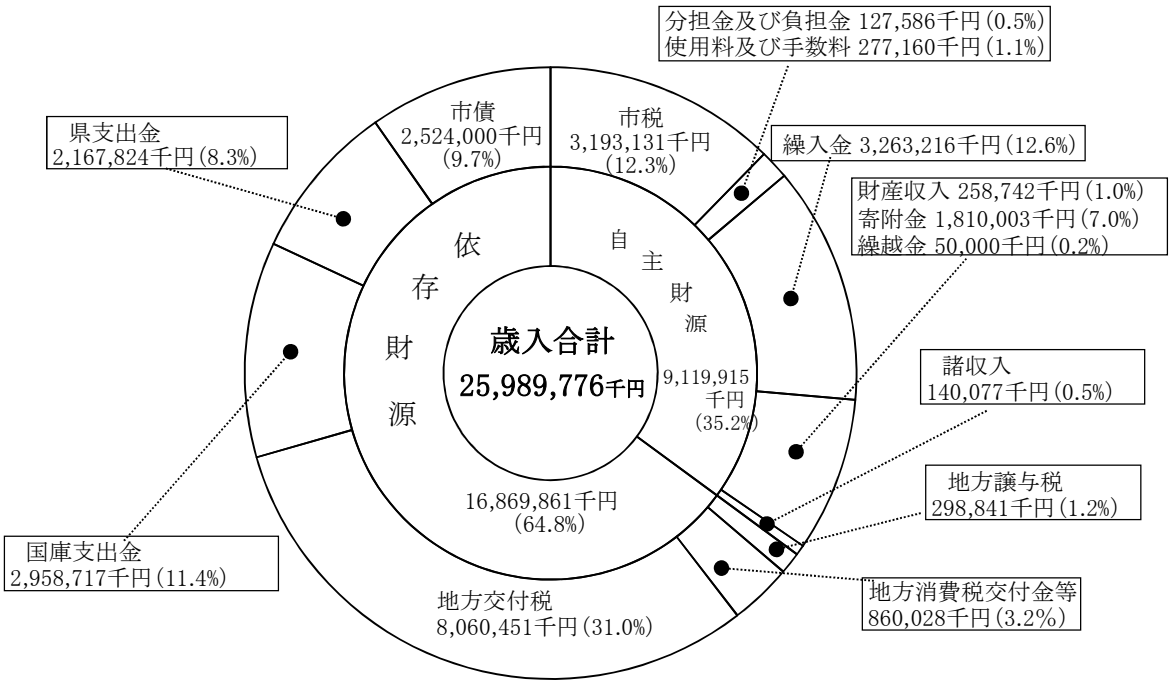
介護保険特別会計予算は，第8期介護保険事業計画（令和3年度～令和5年度）に基づくとともに，前年度の実績を考慮したものであり，前年度当初予算に対して，1億769万1千円，1．8％増の59億5，960万9千円となりました。

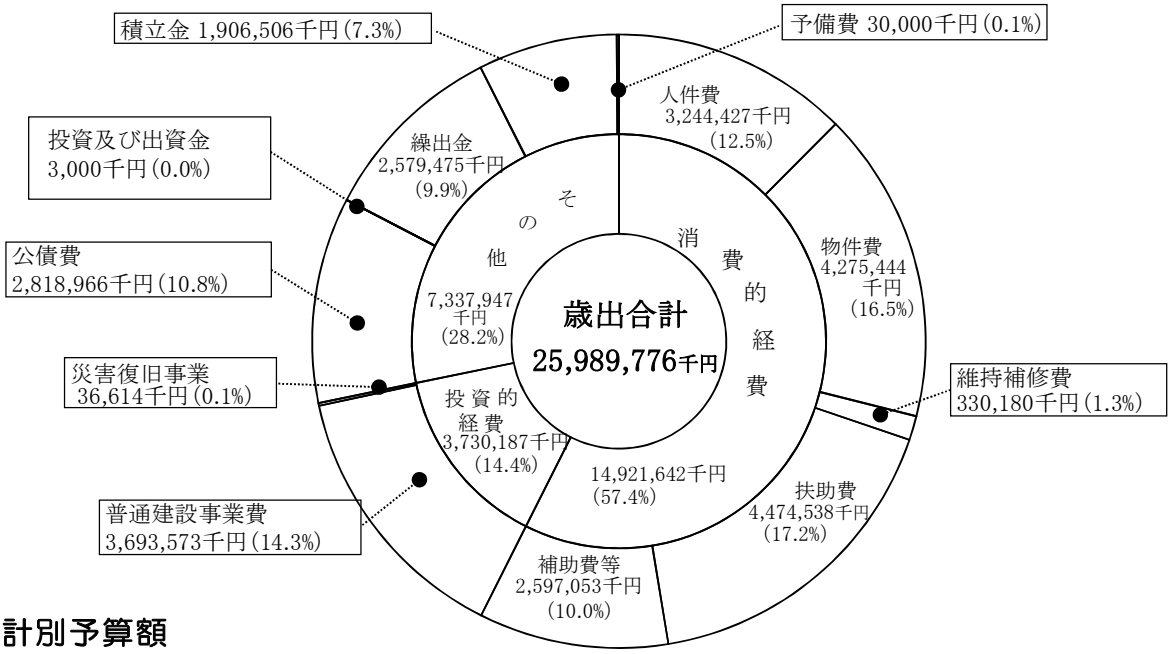
生活排水処理事業特別会計予算は，制度改正により令和4年度の当初予算では浄化槽の新設にかかる予算を削減し，維持管理に関する予算のみの計上としたことから，前年度当初予算に対して，4，442万1千円，39．4％減の6，837万4千円となりました。

水道事業会計予算は，収益的支出が，前年度当初予算に対して，160万1千円，0．3％減の5億6，518万4千円，資本的支出が，前年度当初予算に対して，6，514万8千円，18．1％増の4億2，479万円となりました。

公共下水道事業会計予算は，収益的支出が，前年度当初予算に対して，3，146万7千円，13．7％減の1億9，851万6千円，資本的支出が，前年度当初予算に対して，416万2千円，3．6％増の1億2，139万6千円となりました。

一般会計歳入歳出予算の内訳





会計別予算額

会計区分		令和4年度当初	令和3年度当初	比　較
一般会計		259億8,977万6千円	268億7,500万円	△8億8,522万4千円
特別会計	国民健康保険	56億2,121万9千円	56億4,236万5千円	△2,114万6千円
	後期高齢者医療	6億5,095万9千円	6億1,949万2千円	3,146万7千円
	介護保険	59億5,960万9千円	58億5,191万8千円	1億769万1千円
	生活排水処理事業	6,837万4千円	1億1,279万5千円	△4,442万1千円
水道事業会計		9億8,997万4千円	9億2,642万7千円	6,354万7千円
公共下水道事業		3億1,991万2千円	3億4,721万7千円	△2,730万5千円
合計		395億9,982万3千円	403億7,521万4千円	△7億7,539万1千円

※令和2年度から，笠木簡易水道事業は水道事業会計に統合し，公共下水道事業は企業会計に移行しました。

曽於市組織機構図

（令和4年4月1日現在）

		本庁（217人）		大隅支所（76人）		財部支所（63人）	
市長	副市長	総務課（25人）	地域協働・選挙行革係 デジタル推進室 デジタル政策係 秘書人事係 文書法制係 危機管理室 防災係 消防交通係	地域振興課（14人）	総務消防係（選管） 地域振興係 税務係	地域振興課（14人）	総務消防係（選管） 地域振興係 税務係
		企画課（16人）	地域創生推進室 企業政策係 定住推進係 南九州大学畜産獣医学拠点整備推進室 施設整備係 企画広報室 広報係 企画政策係 統計・男女共同参画係				
		財政課（13人）	財政係 施設整備・管理推進室 施設整備係 管財係 入札契約係				
		税務課（24人）	納税管理係 市民税係 固定資産税係 滞納整理係				
		市民課（14人）	窓口サービス推進室 総合窓口推進係 市民係 戸籍係 国民年金係 環境係		市民係 環境係		市民係 環境係
		保健課（26人）	保健事業推進室 健康増進係 国民健康保険係 コロナ感染症対策係 子育て応援係 子育て支援センター係	保健福祉課（8人）	保健係 福祉係	福祉課（福祉事務所）（22人）	保健係 生活福祉係 社会福祉係 高齢者福祉係 子育て保育係 子ども福祉係
		介護福祉課（14人）	介護保険係 地域支援係 福祉係				
	副市長	農林振興課（14人）	農政係 林政係 営農推進係	産業振興課（14人）	農政商工係 営農推進係 畜産係 管理用地係 農地整備係	産業振興課（12人）	農政商工係 営農推進係 畜産係 管理用地係 農地整備係
		商工観光課（7人）	商工・ブランド推進係 観光係				
		畜産課（5人）	畜産係 畜産指導係				
		耕地課（11人）	管理用地係 農地整備係 調査計画係 畑地かんがい係				
		建設課（20人）	管理係 土木係 建築係 教育施設係 住宅施設係 用地係 計画係	建設水道課（8人）	管理係 土木係	建設水道課（8人）	管理係 土木係
		水道課（12人）	経理係 工務係 管理係				
会計管理者		会計課（5人）	会計用度係				
議会		議会事務局（5人）	総務係 議事係				
教育委員会	教育長	教育委員会末吉分室（2人）	教育振興係	教育委員会総務課（10人）	総務係 学校管理係 学校給食係	教育委員会財部分室（2人）	教育振興係
				学校教育課（7人）	指導係 学事係		
				社会教育課（13人）	社会教育係 生涯学習係 生涯スポーツ係 文化財係		
農業委員会		農業委員会末吉分室（2人）	農地係	農業委員会大隅分室（2人）	農地係	農業委員会事務局（5人）	総務係 農政係 農地係
監査委員		監査委員事務局（2人）	監査係				